

コロナウイルス感染症拡大の中で

臨床心理学部 学部長 香川 克

2020年度は、コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染が拡大する中でスタートした。大学の授業はすべてオンラインでの授業となり、現在に至っている。こうした授業の中で、私たちはどのように学生と向き合っていけばよいのか。この問いが、私たちに投げかけられ続けている。

また、教職・保育職の養成が重要なミッションとなっている私たちの学科にとって、この状況の中で、それぞれの専門職がどのように子どもたちを育てていくのかというテーマも重要である。「新しい生活」ということが言われ始めているが、「新しい社会」の中で、子どもたちがどのように育っていくことが望ましいのか。そしてさらに、私たちが育てる学生たちは、子どもたちの育成にどのように関与していけばよいのか。答えは、未だ、明確にはなっていないのかもしれない。

来年度以降は、本紀要も、子ども教育学部子ども教育学科の体制へと引き継がれ、再編されていくことになる。「新しい関係性」が求められるこの社会の中で、新しい学部・学科における教育研究の一層の展開が求められていると言えるだろう。

